



株式会社メガカリオン
www.megakaryon.com

News Release

平成 27 年 3 月 20 日

関西圏国家戦略特区における事業認定のお知らせ

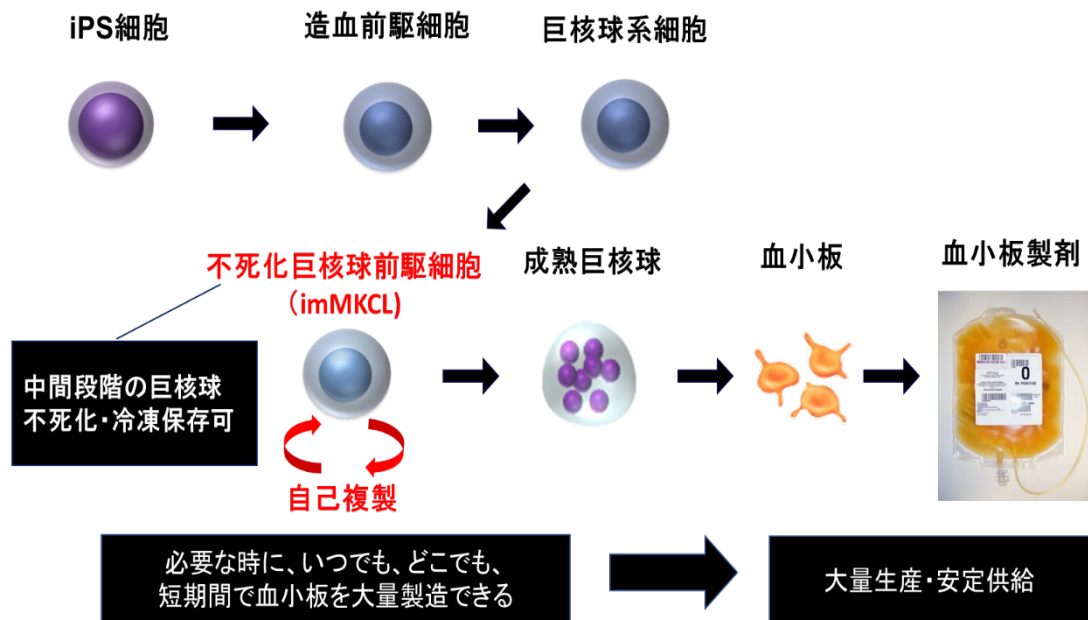
株式会社メガカリオン（以下「当社」）（本社：京都市左京区、社長：三輪 玄二郎）は、当社が取り組む革新的な iPS 細胞由来の血小板製剤製造技術に関する事業が、平成 27 年 3 月 19 日の第 13 回国家戦略特別区域諮問会議に於いて審議され、世界の医療分野における我が国の国際競争力の強化に寄与する取組みであるとともに革新的な再生医療に関する研究開発であり、その事業化の推進が国家戦略特区の目標に寄与するものとして、国家戦略特別区域法に基づく特定中核事業(注 1) の適用第 1 号案件として内閣総理大臣より認定を受けました。

今回の認定により、課税の特例措置として、固定資産税の軽減や法人税法上の租税特別措置の活用が可能となり、税制の活用により生じた資金を研究開発に充当することで、研究開発の一層の円滑かつ迅速な遂行に取り組んで参ります。また、当社が研究開発を行う際に規制上の制約に遭遇した場合に、関係諸機関に於いて規制緩和をご検討頂くことを期待しております。

血小板製剤による輸血は、医療の最も基本的な治療手段の一つですが、現在は献血に依存した製造方法しか存在せず、また、製造された血小板製剤は、廃棄・保存までの期限が 4 日しかない為、医療現場においては需給の調整の困難に直面しています。更に、今後少子高齢化の進行により、長期的な献血不足が懸念される中、iPS 細胞由来の血小板製剤製造という再生医療分野におけるイノベーションを実現することにより、血小板製剤、特に希少な血液型の製剤を計画的かつ安定的に、低コストで供給することが可能となり、その経済的社会的効果が全国の医療現場にもたらされることとなります。

当社はヒト iPS 細胞から自己複製と凍結保存が可能な巨核球を誘導し、大量に血小板を生産する基本技術を確立しました。この方法の特徴は中間段階である巨核球を不死化・凍結保存可能とした事で、安定供給と大量培養を可能にした点にあります。すなわち、必要

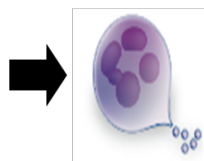
な時にいつでも、どこでも、短期間で血小板製剤を製造することができる、世界に類を見ない技術です。



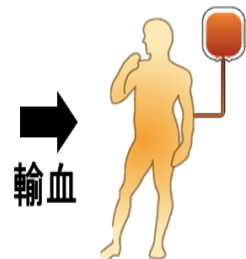
さらに、iPS 細胞による再生医療の課題であるガン化リスクがないことも大きな特徴です。すなわち、血小板は細胞核を持たず増殖する能力はないことから、ガン化することはありません。

iPS細胞の再生医療用途として優れている点

①iPS細胞から造血細胞 (巨核球)を経て、血小板を計画的に大量生産



②放射線照射によりiPS細胞のガン化リスクを排除 (血小板は無核の為、照射可能)



当社は今回の特定中核事業の認定を契機として、本事業の研究開発を加速し、我が国のみならず世界の医療分野に対する貢献と我が国の再生医療技術の更なるプレゼンスの拡大に寄与することを目指します。

注1 国家戦略特別区域法施行規則第1条第2号に掲げる事業。

当社はこのうち、第1条第2号ロに掲げる事業を実施します。

■株式会社メガカリオンについて

当社は、東京大学医科学研究所の中内啓光教授・京都大学 iPS 細胞研究所の江藤浩之教授等の開発したヒト iPS 細胞由来の巨核球を不死化させる技術、不死化した巨核球を凍結保存する技術を基に、ヒト iPS 細胞から誘導した巨核球が産生する血小板製剤の臨床応用を目指して、2011年9月に設立されました。

ヒト iPS 細胞から血小板を製造する技術を臨床応用し、献血に依存しない、①計画的安定供給が可能で、②病原汚染等の危険性を排した、③医療コストの低い、ヒト iPS 細胞由来の血小板製剤、及びその製造技術ノウハウを世界市場に提供し、日本発のヒト iPS 細胞を用いた安心・安全な再生医療技術を国際展開します。

本社所在地：京都市左京区

代表取締役社長：三輪 玄二郎

URL：<http://www.megakaryon.com/>

■本件に関するお問い合わせ先：

株式会社メガカリオン 管理部長 石井幸佑

Mail info@megakaryon.com

TEL 075-754-8816 (京都)

03-5423-5898 (東京)

以上